

家作り体験



完成した「パネルハウス」は、一貫コース校舎（一号館のイングリッシュ・カフェ）前に9月の植林祭まで展示されました。家作りの様子を紹介します。

※植林祭の情報はp.17にあります。

私立目黒学院中学校では、防災教育の一環として中学3年生が力を合わせ「パネルハウス」作りを体験しました。

帰宅困難が長引き、実際に長期間の学校での避難生活を想定しての仮設住宅作りです。専門家のアドバイスを受けながら作りました。



▲「パネルハウス」の組み立て方を事前に映像で学習しました。

組み立て手順を事前学習

まず、倉庫からパネルを出してくるのですが、重くて量もあり、大変でした。12人で2時間かけて運びました。

重い!!



▲大きなパネルは、7人がかりで運びました。

組み立てる材料の準備



最初に、土台作りの段階で水圧をとりまします。土台が水圧でないと上に何も建たないので、時間をかけてちゃんと組みました。外から押さえる人と、中でビスを打つ人に分かれ土台を固定しました。土台が出来たら、パネルを組み立てていき、1日目の最後は、屋根を上に乗せました。屋根のパネルはとても重いのので、6人がかりで載せました。



土台作り

1日目
8/28(火)

家作り



▲木と木の間に釘が



▲ビスで土台を固定。